

弘教寺

つづじだより



第14号

発行所

〒741-0291 伊勢崎市境米岡二七九上
浄土真宗本願寺派弘教寺
寺報編集部
電話 0270(七四)0573

命終わるときに

弘教寺住職 中山英昭

この夏大変重なる体調をさせていたたきました。四十年来、私の髪を刈ってくれていたBさんとの別れでのことです。太田での葬儀を終え控え室に戻ると、坊守から携帯に何度も連絡が入っていたのに気付き、寺にかけると、Bさんの娘さんより「父が危険な状態にあるが、住職に会いたがっている」とのこと。

法務を終え帰宅し、急ぎ病院に着いたのは、夕方五時を過ぎていました。病室はナースステーションの隣りの集中治療室。Bさんは末期ガンで、その日の朝吐血し危険な状況でした。伺った時は安定していたので、幸いにも話しをすることができました。酸素吸入器は欠かせないけれど、外したり着けたりのやりとりとなりました。付き添う奥さんと三人で、雑談から始まり、Bさんが命終わることの自覚をもつていて、日頃から仏教に関心の強い方であることから、仏教の話しをさせていたできました。お釈迦さまのことは、「過去を追うな、明日を見るな、今を生きよ。」という、たまわった命の一分一秒を大切に生きていくことの教えを伝え励ましました。小さな

巴紙に「大悲」と書いたものを手渡し、別にBさんが三年前ガンになってから、写経していた正信偈の「極重悪人唯称仏、我亦在彼摄取中、煩惱障眼雖不見、大悲無倦常照我」の四句を説明し、その意味や味わいを書いたものも一枚の紙にまとめ、奥さんに手渡ししました。

今思えば、「人生の終わり」を夫婦で、命終わるときに語りあえる信頼、絆の深さに、ただ頭の下がる思いでありました。ガン等の治療において、本人への告知がほとんどになつていいる今日、僧侶の私として何か関わることができないかと日頃から思っていましたので、翌日から、色紙に書いた仏教の言葉とその意味の法話メッセージを自宅に届け、Bさんに伝えることが始まりました。確か八枚目の法話メッセージを自宅に届けた日、Bさんは往生されました。仏教者の私に、伝えることの大切さを教え、勇気を与えてくれたBさんにただ感謝するばかりです。ありがとうございます。

後日感謝の言葉をいたたきました。末期ガン等の患者さんが、命終わるとき、み教えに出会い、少しでも安らぎを持つていただければ、これ以上のことはないと思いません。

武蔵野大学看護学部教授の種村健二郎先生は、本山の「大乘」九月号で、『悲嘆』に二通りあることを書いていらつしやいます。悲嘆とは、身近なものを失った時の悲しみです。その一つは、病的悲嘆。突然の身近なもの別離に会ったとき、家族は受け入れ難く、いつまでも悲しみが続き、場合によっては、うつ病などの疾病をも引きおこします。もう一つは予期悲嘆。やがてくる死を話し合つて、家族がその悲しみを分かち合うことです。

「ありがとうございます。浄土にゆかせてもらうよ。」

「ありがとうございます。すぐに私も参ります。」と、こうしたやりとりによつて、別離後に病的悲嘆は表われないとのこと。悲しみからの立ち直りも早いとのことでした。先日、Bさんの奥さんと会った時も、元気に立ち直られ、Bさんの夢もそんなに見えないとのことでした。

法話メッセージが、末期ガンの患者さんと家族が、命終わるべくしていくことを話し合う一助になればと願うことです。



称名

仏壮・仏婦合同研修旅行記

十月二十五・二十六日 上越の親鸞聖人こ
旧蹟と天地人の里の旅にいつてきました。参
加者は三十五
名でした。



車中のご挨拶に、真悟君の標語「声かけて地域に育つ笑顔の子」が全国表彰の最優秀に選ばれて、十一月中旬に福井県での表彰式に行くとの報告があり、皆、

我が事のように喜び合いました。

上越市板倉の恵信尼廟所に到着。平成七年に婦人会で訪れた時と違い、立派な廟所になっていて思わず南無阿弥陀仏と称(と)なえ参拝しました。春には恵信尼様ゆかりの風格あるこぶしの花が美しく咲いた事でしよう。

親鸞様を慕い、妻として共に歩まれた恵信尼様のご苦労は、ご廟所を訪ねあらためて大きな感動となりました。

国府別院では、広々とした本堂でお参りして、称えるお経に、心あられされました。法話

を聴聞して親鸞様にまつわる七ヶ思議 台掌の姿に見える「片葉の葦」に感動しました。流罪のおり上陸した居多ヶ浜をみて、天地人博を周り、岩室温泉での宴会では、親睦も深められて一日目が終了しました。(倉林ま)

(二日目)
寺の旅行では雨に降られた記憶はありませんが、朝から降り続き大変でした。でも予定通り寺泊で買いい物を済ませて、出雲崎良寛記念館に到着。良寛の遺墨や遺品等々を見学。大きな字で南無阿弥陀仏と書かれた掛け軸は、心に深く印象づけられました。写真で綴る良寛の世界「良寛の俳句」を記念に求めました。短い時間でしたが与板の新潟別院にも参拝することができました。

与板の歴史資料館では、兼統とお市のお二人が人生のスタートをした場所でもあり、ドラマ「天地人」での兼統の鎧・兜や、お市の衣裳などが展示されておりました。

最後の見学地雲洞庵では、兼統が幼少の頃、学問に励んだ部屋を見て、与六の「わしはここへは来とうなかつた」のドラマでの言葉が思い出されます。景勝公が兼統らとともに、十三世通天和尚から「敬天愛民」の根本精神を修行し学んだお寺です。建築物「梁の彫り物」は見事でした。雨の中での研修でしたが無事にすべてが終了しました。

来年の研修も健康で参加できるように切に願っております。(倉林 け)

浄土真宗本願寺派

全国仏教壮年会連盟が結成される

十月十日四本願寺御影室にて 仏教壮年会連盟の結成大会が、ご門主さまのご臨席のもと盛大に開催されました。当日は、全国教区内の各組から代表者が総勢580名参加されました。全国組織の仏教壮年会連盟としての新たな始まりを期して、今後、自主自営の活動を進めながら、組織の充実発展に向けて、お念仏申す仲間とともに、「自らの生き方を親鸞聖人のみ教えに聞き、朋友の輪を広げ、心豊かに生きる社会の実現」のために、全力で取り組もうというものでした。(貝塚 しゅ)

千鳥ヶ淵 全戦没者追悼法要に参加して

九月十八日 都云とは思えぬ深い緑に包まれ、蝉の音が響き渡る中、法要が営まれました。新門様のご焼香に始まり、正信偈を勤め、

「恩徳讃」「み仏に抱かれて」、などの仏教讃歌を斉唱できました。身の引き締まる厳かな法要に、参加させていただき本当に有難うございました。(岩内 ひ)

世の中安穏なれ



第十回弘教寺ゴルフ会と喜寿の祝賀会開催

弘教寺ゴルフ会の第十四大会が十月六日に伊香保ゴルフ倶楽部、岡崎城コースで十八名の参加で開催されました。悪天候にも関わらず豪快なプレーの続出で大混戦となり、増井信行さんが一打差で逃げ切り初優勝をしました。



弘教寺ゴルフ会は平成十六年に会が発足し、住職のご援助と会員相互の協力と尽力により、今日の発展があります。今回は住職のご配慮により、記念の十回大会として、伊香保温泉で祝賀会を催すことになりました。

ますますの発展が期待されます。(泉か)

喜寿の祝い

玉田 忠様
石樽 孝治様

ゴルフ成績

優勝者 増井信行様
準優勝者 須田正信様
第三位者 東田寿信様

◆囲碁の会◆

平成二十年二月に発足した当会は、毎月一回の例会を重ね、すでに一年八ヶ月になります。



途中、橋本治太郎先生(四段)の入院で半年ほど中断しましたが、先生のご退院後、お元気でご指導頂き例会を再会しています。会員数は三回ほど出入りがあつたが現在では四名の会員で二面の盤を囲んで続けています。昨

年の法師温泉や、奥平温泉郷の遊神館の遠征例会は楽しい思い出になりました。(玉田た)

◆マージャンの会◆

脳の活性化とボケ防止の効用がある麻雀を趣味と実益を兼ねて、毎月二回を目途に囲んでいます。



最近ではユカレリの皆さんにも、フラダンスの練習の後、参加していただいています。賑やかな楽しい会ですので関心のある方、入会をお待ちしています。

(伊部よ)

◆パソコンの会◆

パソコンで年賀状作りに挑戦してみませんか。今年も年賀状の季節となりました。今まで手書きや印刷屋さん依頼されていた方は、一味違った年賀状を親戚・お友達に出してみませんか。



お寺でパソコン教室も二年目に入っています。十二月二日(水)午前九時半から年賀状作りを予定しています。

新たな挑戦として年賀状作りに参加してみたいかがでしょうか。今教室で、勉強されている皆様方が親切にお教えますよ！

(西ま)

◆カフオケの会◆

発足して早くも一年が経過しました。毎回十〜十五人の参加者です。いつものパターンですが最初に練習曲、ソロ、最後にリクエスト



曲を合唱してあつと言う間に二時間半が終了です。良い雰囲気です。毎月第二金曜日午後一時半よりGSスタジオで楽しく歌っています。皆さんも来てね！

(小林ちよ)

会員制・子どものつどい順調です!

毎回の流れは、「作って遊はう」と「作って食べよう」が中心です。五月は紙ひこうきと



水あめ、十月はクラフトテープのこまと月見だんごでした。身近なもので作って遊べることや意外に夢中になれることを知りました。また、できあいのものでなく、子どもでも作って食べられる体験をして、格別の味を味わいました。さらに、その

日の遊びに関わるプレゼント付きで皆にお祝いしてもらおう誕生会も人気です。

子どもに返って喜んでお世話してくれる祖父母世代のスタッフと一緒に遊ぶ光景は、まさに、「継続していく命」を感じさせられます。



これから、子どもたちも、一回一回の体験を日常に持ち帰って遊び、楽しめるように工夫していきます。(坊守)

次回は「十二月二十三日(水) 風作りと餅つき」

◆ヒーフ法話云に ユカレリとアザレアが参加◆

小雨降る中、午後寺を出発、若宮苑へ、私は初めての法話会の参加であった。西蓮寺ご住職が移動仏壇を持参し、ホール前に置き、法要が始まる



「今日はお盆の法要を皆様とご一緒に勤めましょう」と、南無阿弥陀仏を全員で称(とな)える。初めての体験であったが今日のような行事も出来るのだと感心した。



その後の合同発表会では、オープニングにアザレアが「証城寺の狸ばやし」「夏の思い出」の二曲を歌い、次にユカレリが「グッバイホルル」「パリシエールズ」を踊った。若宮苑の人達も一緒になって笑顔で楽しんだ。次にアザレアが、「ゴンドラの歌」「みかんの花咲く丘」「海」「夕焼け小焼け」「雨降りお月さん」を歌った。

全員が大きな口開けて一生懸命歌っている姿が非常に心強かった。ユカレリが「アレコキ」「四季の歌」を踊り、アザレアが、「かえるの歌」を囃唱し、最後に「籠の鳥」を全員で歌い終了する。法話会への参加は、私にとって意味深いものであった。(神戸ゆ)

◆行事予定◆ (平成21年12月~平成22年3月)

| 月別 | 弘教寺の行事予定 | | 教区・群馬組の行事予定 | |
|-----|----------|-------------|-------------|-------------|
| 12月 | 5日~6日 | 合同報恩講・報恩講法要 | | |
| | 13日 | 壮年会例会 (忘年会) | 12日 | 教区仏壮理事会 |
| | 18日 | 婦人会例会 | | |
| | 23日 | 子どものつどい | | |
| 1月 | 1日 | 元旦会 | | |
| | 19日 | 婦人会例会 | 9日~16日 | 御正忌報恩講 |
| 2月 | 6日 | 子どものつどい | | |
| | 7日 | 壮年会例会 | | |
| | 19日 | 婦人会例会 | 20日~21日 | 仏壮結成記念日研修会 |
| 3月 | | | 6日 | 組大遠忌お待ち受け法要 |
| | | | 6日 | 仏壮理事会 |
| | 26日 | 婦人会例会 | 18日~24日 | 春彼岸 |

※編集後記※

スポーツの秋、近くの小学校の運動会に行った。騎馬戦、組体操の互いに協力・調和が必要な団体競技が、走り・踊りという個人種目に変わっていた。華の学年対抗リレーも目にあまった。親の目前で早く走りたいたい気持はいいのだが、バトンをひったくり、持っていけの受け渡しです。受け易く取り易く相手への気づかいが見られない、リレーゾーンの状態でした。世相の一面を見せ付けられた思いで、「人への思いやり」の大切さに気がかされた一日でした。(橋本ま)